

3年ぶり 区民参加の総会開催

非常時対応で会則改正など決める

依然としてコロナ感染が続く中、区民の皆様には大変なご心労おかけしましたが、29日無事定期総会を終えることができました。20年、21年度とも未知の新型コロナウイルスへの対応策がわからず、緊急避難的に「評議員会」が総会事項を代行する形で予算・決算や活動計画・実施まで決定し実施してきました。こうした対応はあくまで変則であり、今年度総会で、会則改正を行い、過去2年間の活動を含め「追認」していただきました。有難うございます。

新型コロナの問題は市民生活にも多くの課題を残しています。子どもたちから高齢者まで、全世代が支え合う「地域の役割」は一層高まっています。共に頑張りましょう！

活動の継続発展確認

22年度新役員体制も

総会では銘苅全郎会長を選出（留任）。新会長から22年度役員案が提出され賛成多数で採択されました。22年度新役員は以下の通り（所属班及び敬称略）

【会長】銘苅全郎 【副会長】田邊治
通・金城幸弘【書記・会計】嘉陽由美子（以上留任）
【評議員】宮城 徹（青少年未来育成部長）、小笹睦美、宮城朝彦、比嘉康夫、入仲秀正、銘苅徳人（以上留任）上里翼（新任）【監査役】嘉陽孝（新任）宮城善一（留任）



24日、公民館で嘉陽宗保さんの市民憲章受賞を祝う集いがありました。90歳を越えてなお、子どもたちに農作物栽培の指導を行った居ること評価されての受賞。これからも元気でご指導下さい！

宗保さん

おめでとうございます！

市民憲章受賞を喜ぶ

農業体験指導など評価

長年ご苦勞様でした

【退任】照屋恵一、吉川りり子（評議員）銘苅則夫（監査役）

第4回「もったいない市」賑わう
子どもたち収穫の玉ねぎも販売
日用雑貨 子供用品など多数並ぶ
売上金約2万円を自治会に寄贈



新入学 中学進学を祝う

初挑戦！先輩達が企画運営

4月に新1年生となった小学生・中学生を歓迎し激励する集いが、16日公民館で賑やかに行われました。例年は放課後子ども教室を対象に、自治会役員会や父母主体で取り組んできた催しですが、今年から中学高学年生や高校生で実行委員会を作り実施したのが特筆すべき変化です。



どう迎えるか？記念品は何にする？全て実行委員会で行き渡り、役割分担を決めて実施し

ています。素晴らしいですね！学校でも出逢う大勢の「お兄ちゃん」お姉ちゃんに囲まれ、招かれた”新1年生”たちも終始リラックスした表情。笑顔と歓声の中での「門出」となったようです（写真）

ゆくいだき〜ゆめまち開闢

文字通り「寝耳に水」カーミージーは市有地で、市民のシンボリック的岩礁と理解してきたのに、ある日突然「私有地」表示の警告立て看板Ⅱ写真Ⅱ登り降り口はチェーンで施錠されている。浦添市に聞いたところ、看板設置は市のちゆらまち推進課。「私有地」表示については「登記簿に記載されているから」という説明。法務局で調べると、確かに令和3年6月11日付けで城間在住者と見られる4名が4分の1持ち分で所有権保存登記されている。



頃？字有地とは？等疑問も多い。次回また報告します。

22クリーンデー事業

15日午前中（日）実施予定

花木植え、草刈りなど検討しています